



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月29日

上場会社名 株式会社トクヤマ 上場取引所 東
コード番号 4043 URL <https://www.tokuyama.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 横田 浩
問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 中野 哲也 (TEL) 03-5207-2552
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	81,828	△0.8	7,884	5.1	7,602	△9.8	4,911	△33.6
2025年3月期第1四半期	82,524	△2.8	7,502	45.9	8,424	49.0	7,402	72.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 4,912百万円(△48.8%) 2025年3月期第1四半期 9,601百万円(36.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	68.27	—
2025年3月期第1四半期	102.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	474,436	276,697	55.3	3,644.06
2025年3月期	476,207	273,858	54.9	3,635.62

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 262,171百万円 2025年3月期 261,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	364,500	6.2	41,500	38.5	41,500	40.3	29,000	24.0	403.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社（社名）愛研徳医療器械（蘇州）有限公司、除外 1社（社名）株式会社FLトクヤマ

（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	72,088,327株	2025年3月期	72,088,327株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	143,418株	2025年3月期	144,095株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	71,944,361株	2025年3月期1Q	71,945,819株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 5
(3) 資本の財源及び資金の流動性に関する説明	P. 6
(4) 研究開発活動	P. 6
(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
四半期連結損益計算書	P. 9
四半期連結包括利益計算書	P. 10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	P. 11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 11
(四半期連結貸借対照表関係)	P. 11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
2026年3月期 第1四半期連結累計期間	81,828	7,884	7,602	4,911
2025年3月期 第1四半期連結累計期間	82,524	7,502	8,424	7,402
増 減 率	△0.8%	5.1%	△9.8%	△33.6%

(売上高)

半導体関連製品の販売は堅調に推移したものの、苛性ソーダの輸出数量が減少したことや、塩化ビニル製品の海外市況が下落したこと等により、前年同期より6億96百万円減少し、818億28百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

(売上原価)

製造コストの改善が進んだこと等により、前年同期より18億16百万円減少し、538億52百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

(販売費及び一般管理費)

物流費の増加等により、前年同期より7億37百万円増加し、200億91百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

(営業利益)

半導体関連製品の販売が堅調に推移したこと、および製造コストの改善が進んだこと等により、前年同期より3億82百万円増加し、78億84百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

(営業外損益・経常利益)

営業外損益は、前年同期に計上した為替差益が為替差損に転じたこと等により、前年同期より12億4百万円悪化しました。

以上の結果、経常利益は前年同期より8億22百万円減少し、76億2百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

(特別損益・税金等調整前四半期純利益・四半期純利益・親会社株主に帰属する四半期純利益)

特別損益は、前年同期に係会社株式交換益を計上した反動等により、前年同期より31億43百万円悪化しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は、前年同期より39億65百万円減少し、76億74百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

応分の税金費用を加味した四半期純利益は、前年同期より22億17百万円減少し、50億55百万円（前年同期比30.5%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期より24億90百万円減少し、49億11百万円（前年同期比33.6%減）となりました。

(セグメント別の状況)

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	セメント	電子先端 材料	ライフ サイエンス	環境事業				
2026年3月期 第1四半期 連結累計期間	27,471	16,080	21,234	9,097	1,479	9,351	84,713	△2,885	81,828
2025年3月期 第1四半期 連結累計期間	30,538	16,366	17,868	10,062	867	9,233	84,936	△2,412	82,524
増 減 率	△10.0%	△1.7%	18.8%	△9.6%	70.6%	1.3%	△0.3%	—	△0.8%

営業利益又は営業損失（△）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	セメント	電子先端 材料	ライフ サイエンス	環境事業				
2026年3月期 第1四半期 連結累計期間	2,808	2,517	2,822	1,705	159	△67	9,945	△2,061	7,884
2025年3月期 第1四半期 連結累計期間	2,772	1,782	1,940	2,074	△159	1,208	9,620	△2,117	7,502
増 減 率	1.3%	41.2%	45.5%	△17.8%	—%	—%	3.4%	—	5.1%

(注) 各セグメントの売上高、営業利益又は営業損失（△）にはセグメント間取引を含めております。

(化成品セグメント)

苛性ソーダは、輸出数量が減少したこと等により、減益となりました。

塩化ビニルモノマーおよび塩化ビニル樹脂は、海外市況が下落した一方、塩化ビニル樹脂の国内の販売価格改定や製造コストの減少等により、収益が改善しました。

ソーダ灰は、販売数量を維持し、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は274億71百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は28億8百万円（前年同期比1.3%増）で減収増益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、国内出荷が前年同期比で減少したものの、国内の販売価格改定を進めたこと、および製造コストの改善等により、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は160億80百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は25億17百万円（前年同期比41.2%増）で減収増益となりました。

(電子先端材料セグメント)

半導体向け多結晶シリコンは、販売数量は増加したものの、棚卸資産評価損を計上したこと等により、減益となりました。

ICケミカルは、電子工業用高純度IPAの販売数量が増加したこと等により、収益が改善しました。

乾式シリカは、中国景気の低迷の継続に伴い販売が低調に推移したこと等により、減益となりました。

放熱材は、半導体製造装置向けを中心に販売数量が増加したこと等により、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は212億34百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益は28億22百万円（前年同期比45.5%増）で増収増益となりました。

(ライフサイエンスセグメント)

歯科器材は、海外向けの出荷が増加したこと等により、増益となりました。

プラスチックレンズ関連材料は、製品ミックスの変動等により、減益となりました。

医薬品原薬・中間体は、ジェネリック医薬品向けの販売数量が減少したこと等により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は90億97百万円（前年同期比9.6%減）、営業利益は17億5百万円（前年同期比17.8%減）で減収減益となりました。

(環境事業セグメント)

イオン交換膜は、膜および装置の出荷が増加したこと等により、増益となりました。

廃石膏ボードリサイクルは、廃石膏ボード収集が低調に推移し、収益が悪化しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は14億79百万円（前年同期比70.6%増）、営業利益は1億59百万円（前年同期は営業損失1億59百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 当四半期の資産、負債及び純資産の状況に関する分析

連結貸借対照表の要約

(単位：百万円)

	2025年3月期末	2025年6月期末	増減	増減率
資産	476,207	474,436	△1,771	△0.4%
負債	202,349	197,738	△4,610	△2.3%
(内、有利子負債)	(110,691)	(111,745)	(1,053)	(1.0%)
純資産	273,858	276,697	2,839	1.0%
(内、自己資本)	(261,562)	(262,171)	(609)	(0.2%)

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は4,744億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億71百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金が42億93百万円増加した一方、売掛金が62億91百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債は1,977億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億10百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が24億93百万円、賞与引当金が18億72百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は2,766億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億39百万円増加しました。主な要因は、非支配株主持分が22億30百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の積み上げ等により利益剰余金が13億8百万円増加したことによるものです。

② 当四半期の財務関連指標の状況に関する分析

当社グループは、「中期経営計画2025」において最終年度達成目標を以下のとおり掲げております。

指標	2025年度 達成目標
売上高	4,000億円
営業利益	450億円
成長事業の売上高成長率（CAGR）	10%以上
ROE	11%以上

なお、当該将来に関する事項については、作成時点での予想や一定の前提に基づいており、その達成および将来の業績について保証するものではありません。また、財務関連指標の進捗については、連結会計年度末時点の状況を報告する予定です。

(3) 資本の財源及び資金の流動性に関する説明

(資本の財源の分析)

当社グループでは、事業活動のための適切な運転資金の確保、および事業ポートフォリオの転換を目的とした成長分野への重点投資、地球温暖化防止への貢献を目的とした合理化・省エネ・GHG排出量削減対策等の設備投資、戦略的投資を推進するために一定の資金を必要としています。主な資金手当ての手段としましては、継続的な事業収益の計上による自己資金の積み上げの他、金融機関からの借入れ、社債の発行等となります。なお、当期の設備投資予定額は351億6百万円であり、主に自己資金、金融機関からの借入金で充当する予定です。

(資金の流動性の分析)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は788億11百万円となっており、当社グループの事業活動を推進していく上で十分な流動性を確保していると考えています。また、金融機関との間にリボルビング・クレジット・ファシリティ契約や当座貸越契約、債権流動化契約も締結しており、流動性に一部支障をきたす事象が発生した場合にも、一定の流動性を維持できると考えています。加えて、不測の事態に備え流動性資金の確保のため、コミットメントラインの設定も必要に応じて実施してまいります。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は40億62百万円です。

(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、最近の業績動向等を踏まえ、2025年4月28日に公表した業績予想を据え置きます。今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,544	79,837
受取手形	3,520	2,161
電子記録債権	3,433	4,612
売掛金	74,596	68,305
リース債権	10	8
商品及び製品	22,673	24,389
仕掛品	21,028	20,035
原材料及び貯蔵品	25,951	22,269
その他	7,957	9,406
貸倒引当金	△85	△84
流動資産合計	234,630	230,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	126,460	128,246
減価償却累計額	△83,476	△84,333
建物及び構築物（純額）	42,983	43,912
機械装置及び運搬具	503,931	507,435
減価償却累計額	△443,906	△446,783
機械装置及び運搬具（純額）	60,025	60,651
工具、器具及び備品	25,265	25,500
減価償却累計額	△21,254	△21,436
工具、器具及び備品（純額）	4,010	4,064
土地	33,003	33,085
リース資産	12,105	12,573
減価償却累計額	△4,918	△5,219
リース資産（純額）	7,186	7,354
建設仮勘定	25,081	25,290
有形固定資産合計	172,291	174,358
無形固定資産		
のれん	69	23
リース資産	14	13
その他	4,126	4,193
無形固定資産合計	4,210	4,229
投資その他の資産		
投資有価証券	36,050	35,506
長期貸付金	1,835	1,824
繰延税金資産	11,383	11,674
退職給付に係る資産	9,252	9,805
その他	6,635	6,163
投資損失引当金	△7	—
貸倒引当金	△74	△67
投資その他の資産合計	65,074	64,906
固定資産合計	241,577	243,494
資産合計	476,207	474,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,742	43,249
短期借入金	6,446	6,876
1年内返済予定の長期借入金	3,028	3,112
リース債務	1,377	1,405
未払法人税等	2,982	2,647
賞与引当金	3,744	1,871
修繕引当金	5,084	4,295
解体撤去引当金	455	441
製品保証引当金	121	70
損害賠償損失引当金	21	20
環境対策引当金	68	—
事業再構築引当金	526	274
契約損失引当金	654	449
その他	21,083	20,284
流動負債合計	91,338	85,000
固定負債		
社債	35,000	35,000
長期借入金	59,644	59,972
長期末払法人税等	84	84
リース債務	5,194	5,377
繰延税金負債	246	263
役員退職慰労引当金	159	157
株式給付引当金	80	95
修繕引当金	1,541	2,383
契約損失引当金	44	44
解体撤去引当金	16	209
退職給付に係る負債	1,817	1,837
資産除去債務	181	209
その他	7,001	7,104
固定負債合計	111,011	112,738
負債合計	202,349	197,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	22,777	22,777
利益剰余金	213,953	215,262
自己株式	△428	△426
株主資本合計	246,302	247,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,187	6,788
為替換算調整勘定	6,883	6,679
退職給付に係る調整累計額	1,188	1,090
その他の包括利益累計額合計	15,259	14,557
非支配株主持分	12,295	14,526
純資産合計	273,858	276,697
負債純資産合計	476,207	474,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	82,524	81,828
売上原価	55,669	53,852
売上総利益	26,855	27,975
販売費及び一般管理費		
販売費	11,181	11,623
一般管理費	8,171	8,468
販売費及び一般管理費合計	19,353	20,091
営業利益	7,502	7,884
営業外収益		
受取利息	55	79
受取配当金	342	373
持分法による投資利益	286	389
為替差益	744	—
その他	973	972
営業外収益合計	2,403	1,814
営業外費用		
支払利息	221	259
為替差損	—	414
その他	1,259	1,422
営業外費用合計	1,480	2,096
経常利益	8,424	7,602
特別利益		
固定資産売却益	4	15
投資有価証券売却益	1,130	198
関係会社株式交換益	2,313	—
補助金収入	1	—
特別利益合計	3,449	214
特別損失		
固定資産売却損	—	9
減損損失	96	40
固定資産圧縮損	—	21
固定資産処分損	64	69
投資有価証券売却損	—	2
損害賠償損失引当金繰入額	72	—
特別損失合計	234	142
税金等調整前四半期純利益	11,640	7,674
法人税等	4,366	2,618
四半期純利益	7,273	5,055
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△128	144
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,402	4,911

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	7,273	5,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155	△399
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	2,176	624
退職給付に係る調整額	△99	△98
持分法適用会社に対する持分相当額	94	△270
その他の包括利益合計	2,327	△143
四半期包括利益	9,601	4,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,374	4,212
非支配株主に係る四半期包括利益	227	700

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで連結子会社であった株式会社FLトクヤマは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

当第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であった愛研徳医療器械（蘇州）有限公司は、重要性が増したため、当該子会社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益（損失）に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

当社グループの従業員および連結会社以外の会社の金融機関からの借入金等に対して、次のとおり債務保証を行っております。

債務保証

	前連結会計年度 (2025年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
従業員	45百万円	従業員	41百万円
春日川内共同生コン(株)	6	春日川内共同生コン(株)	6
中予生コン協同組合	6		
計	59		47

2 債権流動化に伴う買戻義務

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
債権流動化に伴う買戻義務	1,040百万円	836百万円

3 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
受取手形裏書譲渡高	275百万円	一百万円

4 電力の長期購入契約

前連結会計年度(2025年3月31日)

発電事業者との間で電力の受給につき、長期の購入契約を締結しております。当該契約は中途解約不能であり、将来の市況等によっては損失が発生する可能性があります。

当第1四半期連結会計期間(2025年6月30日)

発電事業者との間で電力の受給につき、長期の購入契約を締結しております。当該契約は中途解約不能であり、将来の市況等によっては損失が発生する可能性があります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）およびのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	4,760百万円	4,839百万円
のれんの償却額	20	6

(セグメント情報等)

セグメント情報

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品	セメント	電子先端 材料	ライフ サイエンス	環境事業				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	30,518	16,326	17,691	10,055	865	7,067	82,524	—	82,524
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	19	39	176	7	1	2,166	2,412	△2,412	—
計	30,538	16,366	17,868	10,062	867	9,233	84,936	△2,412	82,524
セグメント利益 又は損失 (△)	2,772	1,782	1,940	2,074	△159	1,208	9,620	△2,117	7,502

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用およびセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は、その他の収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益とその他の収益に区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品	セメント	電子先端 材料	ライフ サイエンス	環境事業				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	27,435	15,805	20,988	9,094	1,472	7,031	81,828	—	81,828
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	36	274	246	3	6	2,319	2,885	△2,885	—
計	27,471	16,080	21,234	9,097	1,479	9,351	84,713	△2,885	81,828
セグメント利益 又は損失 (△)	2,808	2,517	2,822	1,705	159	△67	9,945	△2,061	7,884

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用およびセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は、その他の収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益とその他の収益に区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。